

この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてくれます。

4時間目は「梅雨の大雨」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

中国から日本にかけての東アジア地域では、春と夏の季節の変わり目に梅雨という季節現象があります。梅雨は、夏本番に向けて水資源を補給してくれる大切なものですが、ときには集中豪雨をもたらすこともあります。テレビ、ラジオのほか、気象庁ホームページの「防災気象情報」をご利用いただき、災害に備えて早めの対策をとるように心がけましょう。




4時間目
梅雨の
大雨



5月になると、大陸の高気圧と太平洋高気圧との境目に東西にのびる梅雨前線が現れ、太平洋高気圧の勢力が強まるにつれて、ゆるりと北上していきます。この前線の影響を受けて、沖縄や奄美地方では5月から6月にかけて、本州付近では6月から7月にかけての約1カ月半、曇りや雨の日が多くなります。梅雨の雨は、夏の水需要を支える貴重な水資源となります。一方、梅雨前線に向かって南の海上から湿った空気が大量に流れ込むと、前線付近で積乱雲が発達し、大雨となることがあります。最近では、平成21年7月19日から26日までの8日間に、九州北部と山口県で500ミリを超える大雨が降りました(図1、2)。これは、この地方で7月の1カ月間に降る雨の量の2倍に達します。この大雨により、各地で土砂災害や堤防決壊、家屋の浸水などの災害が発生し、多くの人的被害も出ました。

はれるんプロフィール



名前: はれるん
(気象庁マスコットキャラクター)
種別: 地球の自然(太陽、雲、雨)
所属: 気象庁総務部総務課広報室
趣味: 天気予報
仕事: 国民の気象庁に対する親近感を深めること。

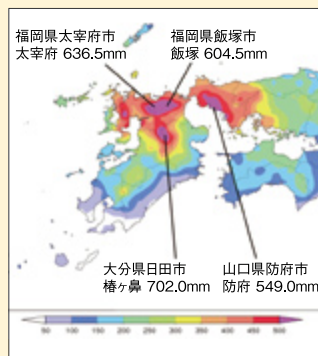


図2 総雨量
(平成21年7月19日~26日)

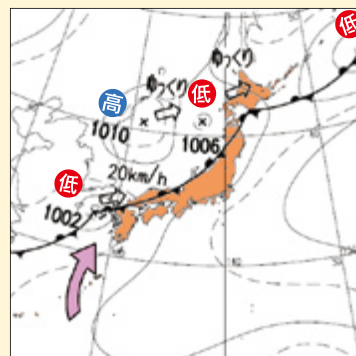


図1 平成21年7月26日12時の天気図
ピンクの矢印は、湿った空気の流れを示す。

この季節、地元の気象台や気象庁から出される注意報・警報などに十分注意して、災害に備えましょう。

防災気象情報 <http://www.jma.go.jp/jma/menu/flash.html>